「総合評価書　警察改革の推進」の要旨

評価の目的及び観点

警察改革の推進状況を検証し、その効果と課題を明らかにすることにより、警察改革を持続的に断行するに当たっての方向性を示す。

評価の対象とした政策

「警察改革要綱」（平成１２年８月、国家公安委員会・警察庁）

〈骨子〉
1　警察行政の透明性の確保と自浄機能の強化
2　「国民のための警察」の確立
3　新たな時代の要請にこたえる警察の構築
4　警察活動を支える人的基盤の強化

主な施策の推進状況と課題

1　情報公開の推進
状況　訓令・通達の公表件数が増加。全都道府県警察が情報公開条例の実施機関に。
課題　都道府県警察の訓令・通達の公表の推進。

2　警察職員の職務執行に対する苦情の適正な処理
状況　職務執行や業務運営の改善に反映。公安委員会等による現場の実情把握の手段として機能。
課題　苦情該当性の的確な判断。担当者の士気高揚。

3　警察における厳正な監察の実施
状況　監察実施回数が増加。業務上の非違事案の懲戒処分者数が減少。
課題　非違事案への厳正な対処と未然防止（依然、重大な非違事案が発生）。

4　公安委員会の管理機能の充実と活性化
状況　四半期ごとに公安委員会に監察実施状況を報告。会議開催時間・回数が増加。
課題　管理機能の一層の充実（審議・補佐体制・会議内容公表の一層の充実）。

5　警察安全相談の充実
状況　相談取扱件数が増加。受理・処理体制を強化。関係機関等とのネットワークを構築。
課題　組織的対応の一層の確実化。ネットワークの実効性確保（関係機関等への働き掛けの継続）。

6　告訴・告発への取組みの強化
状況　適正な受理・処理のための指導を強化。
課題　処理体制の確保（処理件数の減少への対応）。受理・処理の一層の適正化。

7　職務執行における責任の明確化
状況　名札の着用、識別章の着装、警察手帳の形状変更により、職責の自覚が促進。
課題　職員・国民への施策の意義の継続的な周知。

8　警察署協議会の設置
状況　警察署の業務運営に地域の声を反映。警察活動への理解の促進。
課題　より幅広い分野からの委員委嘱。警察署長の主体的な取組み。議事概要の公表の推進。

評価の結果

「警察改革要綱」に掲げる施策はすべて実行に移されているが、警察改革はいまだ道半ばにある。総合評価書において指摘した課題について、改善策を講じ、「警察改革要綱」に掲げる施策の定着とその更なる充実を図り、警察改革を持続的に断行する必要がある。

評価期間

平成１４年から平成１６年までの間